

[https://www.fips-ed.com/wp-content/uploads/2024/02/Reg\\_FIPSeD\\_Trout-Area\\_2024\\_en\\_def.pdf](https://www.fips-ed.com/wp-content/uploads/2024/02/Reg_FIPSeD_Trout-Area_2024_en_def.pdf) を勝手に翻訳

FÉDÉRATION INTERNATIONALE DE LA PÊCHE SPORTIVE EN EAU DOUCE OFFICIAL  
F.I.P.S.e.d. RULES OF INTERNATIONAL “FOR NATIONS” COMPETITIONS “TROUT AREA”

組織

1-公式国際大会は、C.I.P.S.に加盟している国内競技連盟によってのみ開催されるものとする。

2-C.I.P.S.およびF.I.P.S.e.d.に加盟する国内連盟のメンバーで、年会費を完納している者のみが参加を認められ、所属連盟が指名する。チームに所属するアングラーは、代表する国と同じ国籍を有していなければならない。ただし、以下の条件を満たす場合に限る：

- ・ 該国に5年以上居住しており、それを証明する公的書類を所持している事
- ・ 申請書は、釣り人が代表を希望する国から送付されなければならない。  
すでに世界選手権や、ある国を代表して国際大会に出場しているアングラーは、他の国の代表として出場することはできない。
- ・ 競技者は、常に国民 ID またはパスポートによって国籍を証明できるものとする
- ・ すべての添付書類は、1st チームキャプテン会議で提示されなければならない。
- ・ 世界選手権およびゾーン（ヨーロッパなど）選手権に参加できるのは、連盟に加盟しているチームのみとする。
- ・ 選手権大会の開催を申請するためには、検討中の国は、開催を希望する選手権大会に過去3年間に少なくとも1回は参加していなければならない。  
予備プログラムは、必ず前年の10月31日までにF.I.P.S.e.d.事務局に送付しなければならない。ワールド・フィッシング・ゲームスを除き、F.I.P.S.e.d.は、すべての選手権大会において、賞品授与のための印刷物、証明書、順位を提供することを公式任務とする。したがって、主催国は、かかる任務を遂行する者の食費および宿泊費（部屋代、食事代、閉会祝賀晩餐会費）をすべて負担するものとする。
- ・ すべてのF.I.P.S.e.d.選手権大会において、主催国は、F.I.P.S.e.d.実行委員会のメンバー2名とランキング担当者の食費および宿泊費（宿泊、食事、閉会晩餐会）を負担する。  
もしその国が、数えたり計量したりした後の生きた魚を水に戻す（魚を殺すことは禁止されている）ことを約束しない場合は、いかなる選手権組織もその国に委託してはならない。世界選手権またはゾーン選手権を主催する国は、F.I.P.S.e.d.が費用を負担するトロフィーを調達する責任を負う。F.I.P.S.e.d.は、6個のトロフィーに対して最大300ユーロを返

金する。トロフィーには、「F.I.P.S.e.d.」の刻印またはF.I.P.S.e.d.のロゴ、大会開催地および開催日を記したプレートをつける。トロフィー関連費用を証明するため、請求書が必要となる。前述の規定（プレート／ロゴに関する規定）に従わない場合、F.I.P.S.e.d.はいかなる金銭の払い戻しも行わない。F.I.P.S.e.d.はメダルを提供するものとする。全選手権のプログラムおよび招待状は、F.I.P.S.e.d.に加盟している国のみに送付される（クラブや個人には送付されない）。

**3-各C.1.P.S.加盟国は、4名のアングラーと1名のリザーブで構成される1チームのみの出場を認められ、そのチームは最初の抽選の前に指名されるものとする。**

競技者は個人として参加することはできない。

競技中に負傷した場合、正規の参加者は公式文書で指定されたりザーブメンバーと交代することができる。このような交代は、釣具の交換も含めて、審査委員によって許可されるものとする。

競技は、小さな湖などの適切な水域で開催されるものとする。

競技に使用される釣り場は、プログラムに明記され、競技の全期間を通じて同じでなければならない。

競技会場の幅は、最低40メートル（競技者の前に他の部門の競技者がいる場合）、または最低 20メートル（競技者の前に他の競技者がいない場合）でなければならない。

可能な限り、選択された会場は、すべての競技者にとって類似した釣り場でなければならない。さらに、送電線や橋などによる中断も避けなければならない。

会場は、競技者および観客をいかなる種類の危険にもさらしてはならない。また、会場は、すべての参加者が乾いた陸地から釣りができるようなものでなければならない。

技術委員会の1名以上の委員は、選手権大会のために選定される可能性のある会場を視察するものとし、当該視察は、検討中の競技会開催に提案された時期と同じ時期に行われるものとする。F.I.P.S.e.d.は、技術委員会委員の旅費（航空券、列車賃、車代を含む）を負担する。視察報告書はF.I.P.S.e.d.の執行委員会に提出し、評価と承認を得る。F.I.P.S.e.d.による開催地の承認または却下に関する最終決定は、候補国に通知されるものとする。

宿泊に関して、参加国には2つの選択肢がある

1- 主催国が提案する公式宿泊施設を選択すること（任意）。

その場合、主催国は、以下を含む宿泊条件を明示する：滞在期間に関係なく、各部屋に同室する人数に応じて、1人1泊2食付きとする（本大会では1日3食付きとする場合もある）。参加国は、釣り人の滞在日を指定しなければならない（多くの国が使用している木曜日からの「公式滞在」という言葉は、いかなる規定にも登場したことがないため、使用すべきではない）；クロージング・ガラ・ディナーの料金。国家に提案された宿泊条件は、まず技術委員会の承認を得なければならない。

2- ホテルは自分で選ぶ。この場合、参加国は、登録時に（公式登録用紙に）、主催国に宿泊に関する選択肢を伝えることが求められる。

どちらの場合（主催者を通じての参加、または主催者の助けを借りずに参加）でも、登録料は1,300ユーロとし、これには8回の閉会ガラディナー、チャンピオンシップ全期間（公式練習日と競技日の両方）のフィッシング許可証5枚、保険料、ギフト、カップ、トロフィーなどの諸経費が含まれる。

連盟は、代表団の正式メンバーに与えられるメダルに加えて、追加メダル1個につき25ユーロの負担金を支払うことにより、追加メダル（1チームにつき3個まで）を要求することができる。追加メダルの料金は、F.I.P.S.e.d.に支払うものとする。いかなる場合においても、またいかなる理由においても、本規則に規定されている数以上の追加メダルをF.I.P.S.e.d.に要求することはできない。

閉会ガラディナーでは、テーブルサービスまたはビュッフェディナーのいずれであっても、参加国には、予約したガラディナーの席数に相当する数の席が割り当てられる。

主催者が定めた期限までに宿泊先の詳細が提供されなかった場合、参加国は必自分で宿泊先を予約しなければならない。その場合でも主催者に登録料1,300ユーロを支払わなければならない。

関連する登録用紙に記入し、選手権大会に参加することを約束したにもかかわらず、参加しなかった国は、いかなる場合においても、1,300ユーロを主催国に支払わなければならない。この規定に従わない国は、今後の選手権大会への参加および開催を禁じられる。

すべての国は、遅くともトレーニング日の1週間前までに、到着日を主催国に連絡しなければならない。第1回チームキャプテン会議に欠席した（まだ到着していない）国は、棄権国とみなされ、選手権に参加することはできない（第28条5Cの罰則を参照）。主催国は、大会プログラムとともに、会場から20km圏内にあるホテル、宿泊施設、部屋、キャンプ場のリストを提供しなければならない。

主催者は、すべての登録用紙に必要事項が記入され、代表者1名とチームキャプテン1名の携帯電話番号が記載されていることを確認する。住所と緊急電話番号（警察、消防、病院など）は、プログラムのリーフレットに記載する。

TROUT AREA」世界選手権は通常10月か11月に開催される。この表示は、開催国の気候条件や競技会場の特徴によって、大幅に変更されることもある。

-6-会場は4つのゾーンに分けられ、それぞれが1つのセクターで構成される。抽選で各チームの

4人に異なるゾーンが割り当てられる。

会場は、1からnまで（nは選手権に参加するチーム数と同じ）の番号が振られた複数のリングで構成される。各リングの幅は3m以上5m以下とする。

ペグの幅は、技術委員会とともに定める。

競技者は、隣接するリングのスペースを超えないように、自分のリング内で釣りを行わなければならない。

競技は、各選手が同じセクターに割り当てられた他の各選手と接対決できるよう、必要なラウンド数で展開される。全セクターにおいて、2名ずつのミニボックスが設置され、各ミニボックスおよび各ピリオドにおいて、左側のリングにいるアングララーが右隣のリングにいるアングララーと競う。

セクターが奇数の競技者で構成される場合（選手権に参加する国の数が奇数であるため）、下図に示す例（1から7までの番号が付けられた7つのリングを持つセクターA、B、C、D、E、F、Gの文字で識別されるアングララー、6つのフィッシング・ピリオドと1つのレスト・ピリオドで行われる全競技者間の直接対決）に従い、各ピリオド中に最後のリング（1つのリングで構成される最後のミニボックス）に位置するアングララーは休息期間を設ける

Period	Competitor (Number of ring)							Direct matches			
1	A (1)	B (2)	C (3)	D (4)	E (5)	F (6)	G (7)	AB	CD	EF	G
2	C (8)	A (9)	E (10)	B (11)	G (12)	D (13)	F (14)	CA	EB	GD	F
3	E (15)	C (16)	G (17)	A (18)	F (19)	B (20)	D (21)	EC	GA	FB	D
4	G (22)	E (23)	F (24)	C (25)	D (26)	A (27)	B (28)	GE	FC	DA	B
5	F (1)	G (2)	D (3)	E (4)	B (5)	C (6)	A (7)	FG	DE	BC	A
6	D (8)	F (9)	B (10)	G (11)	A (12)	E (13)	C (14)	DF	BG	AE	C
7	B (15)	D (16)	A (17)	F (18)	C (19)	G (20)	E (21)	BD	AF	CG	E

競技会場の4つのセクターはそれぞれ7人の選手で構成され、そのうちの1人は出場しないため、予定されている7つの期間に各選手は6回の直接対決を行う。

競技会場は、1から28まで番号が振られた複数のリングで構成される。競技者

Aのリングにおける動きのグリッドは以下の通り：1-9-18-27-7-12-17。

あるいは、この別のスキーム（1～6の番号が付けられた6つのリングを持つセクターの例を示しており、競合他社はA、B、C、D、E、Fの文字で識別され、5つの漁期で発生するすべての競合他社が直接一致する）に従っている：

Period	Competitor (Number of ring)						Direct matches		
1	A (1)	B (2)	C (3)	D (4)	E (5)	F (6)	AB	CD	EF
2	E (7)	D (8)	F (9)	A (10)	C (11)	B (12)	ED	FA	CB
3	F (13)	C (14)	A (15)	E (16)	B (17)	D (18)	FC	AE	BD
4	C (19)	E (20)	B (21)	F (22)	D (23)	A (24)	CE	BF	DA
5	D (1)	F (2)	E (3)	B (4)	A (5)	C (6)	DF	EB	AC

競技会場の4つのセクターはそれぞれ6人の選手で構成されている。

競技会場は、1から24までの番号が振られた複数のリングで構成される。競技者Aのリングにおける動きのグリッドは以下の通りである：1-10-15-24-5。

上記の2つのケースでは、競技中、各選手は自分のセクター内のポジションをローテーションする。さらに、各釣り時間が終了すると、競技者は競技会場の次のセクターに移動する（ローテーションは反時計回り）ため、競技会場全体を1回転以上することになる。

各ダイレクトマッチでは、このフィッシングタイムに予定されている時間の途中で、両者のリングが逆になる。

各セクターは、ゾーンの開始地点と終了地点に標識が設置され、適切にマーキングされなければならない。セクター内では、自然的または人為的な中断は許されない。

そのためには、岸から適切な距離（少なくとも10メートルの距離を推奨する）にフェンスを設置したり、ロープを張ったりすることが可能である。さらに、関係者（主催者、リザーブ、チームキャプテン、代表者、報道陣、審査員）のための通路を釣り人と観客の間に設けなければならない。

オフィシャルコリドー（必須）には、いかなる競技者の物を絶対に置いてはならない。違反1回＝口頭注意、違反2回＝イエローカード。

チームキャプテンは、緑色のバックナンバーまたはCのマークが付いた腕章を着用し、その地位を明確に示さなければならない。ペグ内に入ることができるのは、チームキャプテン1名のみとする。リザーブ競技者および代表者は、赤色のバックナンバーまたは、リザーブ競技者にはRの文字、代表者には口の文字が記された腕章を着用しなければならない。バックナンバーは、いかなる場合にもピンで付けてはならない。

## チームキャプテン会議

-7-ゼネラル・スチュワードがキャプテン会議に出席することが望ましい。チームキャプテンまたは代表者が欠席した場合、F.I.P.S.e.d.会長または代表者が抽選を行う。

1stミーティング-金曜日の午後3時、または第1レグの前夜。

この第1回会議において、本公式規則第25条に基づき、国際審査委員が任命される。

その後、以下の作業が行われる：

-各国の点呼。

- ・各国は、アルファベット順にくじを引き、第1レグの抽選の招集順を決定する。
- ・選手権の進行に関する様々な情報、各漁期と交代に割り当てられた時間（分単位）に関する情報（上記の分単位は、選手権に登録された国の数に基づいて、技術委員会が随時決定しなければならない）。そのため、各チームのキャプテンは、主催者が用意する4枚のカウンターfoilに、自チームの構成選手名を記入し、4つの専用コンテナに1つずつ入れる。4つのグループは、1~4までの番号をつけたピンポン玉を用いた抽選によって構成することもできる。
- ・GROUP1の競技者のスタート順の抽選。抽選が終了した時点で、他のすべてのGROUPのスタート順は、コンテスト両日とも、参加国数に応じて作成された表に基づいて自動的に決定されるものとする。
- ・事前に設定された4グループのセクターA、B、C、Dと抽選でマッチングする。

2ndミーティング -土曜日の朝または第1レグの朝-競技スタートのために集まった選手たち。

3rd ミーティング-土曜日の午後または第1レグ終了後の午後

- ・結果を参加国に通知。
- ・パフォーマンスについてのコメント。そのため、各チームのキャプテンは、主催者が用意する4枚のカウンターfoilに、自チームの構成選手名を記入し、4つの専用コンテナに1つずつ入れる。4つのグループは、1~4までの番号をつけたピンポン玉を用いた抽選によって構成することもできる。事前に設定された4グループのセクターA、B、C、Dと抽選でマッチングする。

4h ミーティング-日曜日の朝または第2レグの朝

-競技スタートのために集まった選手たち。

注：キャプテンミーティングは、大会のガイドラインを提供するための情報提供の場である。いかなる場合においても、ルールの変更はキャプテン会議中に行われてはならない。競技規則の変更は、F.I.P.S.e.d.運営委員会の年次会議において、各国連盟からF.I.P.S.e.d.事務総長宛に書面で提出された意見に基づいてのみ行われる。

## 抽選

8-両レッグのアングリグポジションは、本規則第6条に定めるとおり、F.I.P.S.e.d.が事前に作成した抽選表によって決定される。

9-ポジション番号1は、常に水域に向かって左側に位置し、マーキングは左から右へと行われる。

10-チームキャプテンには、主催者が用意した背番号または腕章を競技者一人ひとりに与える。各セクターの背番号または腕章は、異なる色（緑色または赤色を除く）を使用する。背番号または腕章の着用が義務付けられている。

## 一般規則

11-競技者は、各自の交通手段で会場に到着することができる。競技中、セクター内での喫煙は禁止されている。

各競技者に1名のスチュワードを配置し、各セクターに1名の総合スチュワードを配置する。このような個人スチュワードおよび総合スチュワードは、競技規則を熟知していなければならない。主催国の競技者の個人スチュワードは、主催国とは異なる国籍でなければならない。キャプテン会議において、選手権に参加する他の国の代表団の中から抽選される。個々のスチュワードは、以下のことを行う

a) 担当する競技者の釣り行動を管理すること。個人または部門のスチュワードは、不正行為を発見した場合、第三者（競技者、キャプテン、代表者、観客など）に干渉されることなく、競技者（違反の程度が深刻な場合は国際審査員）に対して直ちに警告しなければならない。

b) 釣った魚の種類が許可されているものであることを確認する（許可されているのはサケ科の魚のみ）。

c) キャッチが口で行われたかどうか、正しくリリースされたかどうかをチェックする。

d) 各釣り人に有効な釣果のチケットを渡し、声を出して釣果を宣言する。

e) 各キャッチは、競技者用紙の当該期間の空欄にマークする（用紙はチームキャプテンが参照できる）。

f) 各漁期が終了した時点で、競技者はそのセクターを去る前に、自身の用紙と、直接対決の結果を示すファイルに署名し、受理されなければならない（コントロールは、各漁獲に対して発行されるチケットを用いて行われる）。その結果および得点は、本大会の総括表に記載される。

所属する部門。当該文書への署名後は、漁獲に関するいかなる苦情も受け付けられないものとする。

g) キャプテン、デレゲート、リザーブの要請に応じて、自分に割り当てられた競技者のキャッチ数を伝える。

- 13-アングリングはドライランドから行うこと。

- 14-トレーニング終了後、およびすべてのレッグが終了した時点で、釣り糸および人エルアーを水中や釣り場に投げ入れてはならない。

- 各セクターは、予定されたすべての直接試合を行うのに必要な数の釣り期間（例えば、10チーム9釣り期間）で構成される。各期間の釣り時間はキャプテン会議の際に知らされ、実施される期間の数と湖に生息する魚の数によって異なる。いずれの場合も、競技時間の合計が210分を超えることはない。ピリオドとピリオドの間の移動に要する時間は210分には含まれない。どのような場合でも、各レッグの途中では、競技者が休憩したり、ルアーやロッド、様々なマテリアルを仕入れたり（つまり、入手したり、他の人に持ってきてもらったり、購入したり）できるように、中断が予告されなければならない

。フィッシング・ピリオド中、あるいはピリオドとピリオドの間の短いインターバル中は、誰（キャプテン、リザーブなどを含む）が持ち込んだいかなる種類のマテリアルの入手、購入、受け取りも絶対に禁止される。

強制的な中断（例：雷雨、デモ、自然災害など）が行われた場合、まだ係争中の釣り期間は中断終了時に終了する。

イベントは、予定されているすべての直接対決が行われた場合にのみ有効とみなされる。

審査委員会は、タイムスケジュール上、予定された漁獲時間を終了することができない場合、各レッグの漁獲時間の全部または一部を短縮することを決定することができる。

-16-各競技者は、競技規則を完全に遵守することが求められる。

-17-バブのないシングルフックを2本まで装着した硬質人エルアー（ロータリー、アンジュレーション、ウオブラー）のみが認められる。バブ付きのフックは認められない。個々のスチュワードは、ルアーを交換するたびに、人エルアーのフックの規則性をチェックする権利を有する。ダブルフックの使用は、オリジナルの人エルアーにのみ許可される。フックはむき出しでなければならない。ドレスフック（スプーンやその他のルアーの準備も含む）およびストリーマーの使用は禁止する。ルアーへのフロントフックの使用は禁止する（下記の例を参照）。



ウォブラーの場合、最大2つの連結リングでフックを吊るすことが許される。

接続リングの最大長は8mmを超えないようにしてください（最大直径8mmのリング1個、最大直径4mmのリング2個）。長さが18mm未満のうねうねしたベイトやウォブラー（あらゆるタイプ）の使用は禁止されている。「フライ」の模造品は禁止されている。天然および人工の毛、毛皮、羽毛を使用したフライ、ルアーの使用は禁止されている。

JERK-POPPER - CRANK - MINNOWルアーのウェイト／バランスの変更は、元の形状を維持することを条件に認められる。

**ルアーの外側にウェイトを貼り付けることは認めない。**

ルアーへのペイントは可。

金属や樹脂製のスティックは一切使用禁止。

芳香剤や香料の使用は禁止する。ゴムやシリコン製のルアーの使用は禁止する。

ラインにいかなるオモリを使用することも、ラインの2つの部分をつなぐスイベルやカラビナを使用することも禁止。ラインと人エルアーをつなぐカラビナ（シンプルな形状でスイベルのないもの）のみが許可されている。

ルアーを水中に投入した後、釣り人の自由な手はリールのハンドルに置かなければならない。ロッドとリールでラインを操作することのみが許可されており、指でラインを引っ張って操作することは厳禁である。

トラウト（レインボー、ブラウン、マーブル、シーなど）、イワナ、サケなどのサケ科魚類のみがカウントされる。このリストは、必要であれば、F.I.P.S.e.d.の審査員が記入してもよい。意図的な魚のファウルフッキングは禁止されている。

エコー・サウンダーの使用は、トレーニング中も競技中も禁止されている。

競技中、釣り人は耳栓、電話、トランシーバーを使用してはならない。

- 18-競技者は好きなだけを持ち、組み立てることができるが、常に1本の竿でしか釣りをすることはできない。競技者は、本数の制限なく予備の釣り竿を持っていくことができる。
- 19-個人的な使用のために、魚を水揚げするためだけに網を使用することが義務付けられている。ゴム網を装備したランディングネットの全長は最大2.00メートルで、ランディングネットの頭部の外径は60センチメートル以下でなければならない。
- 競技者は、外部からの援助を受けることは許されない。2名のキャプテン、リザーブ、および代表者のみが、自チームの競技者のアングリングベグにアクセスする権限を持ち、これは口頭で助言を与える場合に限られる。各競技時間中、あるいは各競技時間と他の競技時間との間の短いインターバル中、いかなる物質的な援助も競技者に与えることはできない。いかなる援助、物資、その他も、各競技日の中間の長いインターバル中にのみ提供することができる。自分のチーム以外の釣り人のベグに入ってはならない。

21-1-魚を捕まえる漁獲を成立させるためには、魚がランディングネットに入り、ランディングネットの縁を完全に越え、ネットに触れていなければならない。ネットの縁に触れただけの魚

はカウントされない。ラケット」と呼ばれるトラウトエリアの典型的なテクニックで、サケを水中でも飛行中でもランディングすることが許されている。ランディングネットは、中の魚が入る大きさでなければならない。平らなラケットのランディングネットは禁止されている（下の例を参照）。魚の捕獲は、魚の口、口と胸ビレの間、または口とエラの間にはフックがかけられている場合のみ有効である。ただし、2本のバーブレスフックを装備したジャークおよび／またはクランクでフックされたサケ科魚類は例外である。この場合、口の中と外側の両方にフックがあることに加え、体の他の部分にもフックがあるサケ科魚類は有効とみなされる。無効な魚は素早くフックを外し、水に戻さなければならない。

釣り糸の一部をフックまたはリトリーブして釣った魚は、それが自分のものであれ、他の競技者のものであれ、有効とはみなされない。

針に掛かった魚は年で拾い上げなければならない。針に掛かった魚が水面から出るのをできるだけ避けるため、年は水平か穂先を下にして（水中でも）保つ

・回収の際に魚を引きずることは禁止されている。

魚の回収が終わると、クランクから手を離してランディングネットを取り、ランディングに進むことができる。この最後の段階では、ロッドは垂の姿勢で使用することができる。

竿が破損した場合、破損した竿やラインの残りをを使って、水中でも水上でも釣りが行われた場合のみ、釣果は有効とみなされる。

魚は、競技者に割り当てられた釣り場内でのみ釣ることができる。エリア外で釣った魚は無効となる。

釣り人が釣り上げた魚が、その釣り人の釣り区域外で隣の釣り人の釣り糸に掛かった場合、その魚が釣り上げられる前に、釣り行為中の2本の釣り糸がフリーになることを条件に、その魚は有効とみなされる。

2人の釣り人がそれぞれ1匹の魚（2匹）を釣り上げ、2人の釣り人の釣り糸が互いに掛かっている場合、2匹の魚は、魚が釣り上げられる前に、釣り動作中の2人の釣り糸が自由になることを条件に有効とみなされる。

釣り上げた後、2人の釣り糸が互いに掛かったままであった場合、その魚（1または2）は無効とし、直ちに水中に戻さなければならない。

以下のコンディションでのキャッチはカウントされない：

- a) 魚は水から上げられると地面に投げられる。
- b) 魚はフックをされ、地面に落ちる。
- c) 魚は地面に寝かされる。
- d) 魚は水に入れられる前に地面に触れる。

## 2-漁獲物の確認

- 釣った魚はサケ科の魚ではない：a) 個々のスチュワードは、それを水の中に戻すよう命じる。そのキャッチはカウントされない。
- 魚の口、口と胸ビレの間、口とエラの間にはフックがかかっていない：a) 個々のスチュワードは、それを水の中に戻すよう命じる。そのキャッチはカウントされない。
- 魚の口、または口と胸ビレの間、または口とエラの間（ルアーにフックが2本付いている場合は少なくとも1本）にフックが掛かっている：a) 釣り針が見え、魚の口が閉じている。スチュワードが“OK”と言うと、競技者は釣り針を外し、ランディングネットで魚を水中に戻す。この釣果がカウントされる。

b) 釣り針は見え、魚の口は閉じている。スチュワードは人差し指と中指を使ってハサミのような動きで釣り人に釣り糸を切るように指示する。

この釣果はカウントされる。

魚は次のいずれかの方法でフックを外し、リリースしなければならない：

- o ラケット"テクニックで魚を救助した後、またはランディングネットを使用して魚を水中に戻した後、リリーサーを使用してフックを外す。リリーサーによるフックの解除は、空中で行わず、水中で行わなければなりません。リリース作業が完了すると、個々のスチュワードによって捕獲が確認される；
- 魚が網にかかった後、手または tong / プライヤー / 鉗子でフックを外すことができるが、フックに触れて魚の口から外すこと。魚は決して手で掴んではならない。フックを外す作業が終わったら、ランディングネットを使って魚をリリースしなければならない。
- o ラケット"テクニックを用いたアクションの後、水中に自由落下しながらも自己リリースされたキャッチはすべて有効とみなされる；
- ランディング/「ラケット」アクションが終了する前にセルフリリースされたキャッチで、自らの軌道を維持したままランディングネットの中に入ったものは有効とみなされる；
- ランディングネットの中に入ることなく、ランディングネットの近くに自己放流された漁獲物は、漁業行為が終了したとみなされなければならないため、有効とはみなされない
- いかなる場合でも、釣り人は最大限の注意と重さをもって魚を水に戻さなければならない。

個々のスチュワードの許可なくフックを外そうとした場合、個々のスチュワードが魚が自らフックを外したことを確認しない限り、その魚は体系的に水に戻され、カウントされない。

22-割り当てられたペグ内では、釣り人は目立たず、音を立てずに移動しなければならない。競

技者は、隣のセクターやペグにラインやアングルをキャストすることを禁じられる。この規則遵守の管理は、審査委員、セクターの総スチュワード、または競技者に割り当てられたスチュワードの専権事項である。いかなる場合も、第三者（キャプテン、代表者、選手、観客など）からの干渉は許されない。写真家およびカメラマンは、釣り人の邪魔にならず、各スチュワードの許可がある場合に限り、セクターに立ち入ることができる。ドローンの使用は、技術委員会の助言に基づき国際審査委員会が認めた特別な場合を除き、競技中および練習中のいずれにおいても禁止する。プレスカード」またはジャーナリストであることを証明する書類を所持している者だけが、キャプテンと控え選手専用の通路に入るためのバッジを要求することができる。そのため、ジャーナリストは、ジャーナリストであることを証明する書類を提示し、当団体に所属していることを証明することが義務付けられている。

23-競技者は、最初の号の15分前までに、抽選で割り当てられたリングに到着しなければならない。点呼は各セクターのスチュワードが行う。各漁期と漁の終わりには、以下の情報が提供される：

- ・ 釣り開始まであと1分であることを音と音声で知らせます；
- ・ 音と音声で漁の開始を知らせる；
- ・ 音と音声で、直接の対戦相手とリングを逆にして進むことを指示する；
- ・ 釣り終了まであと1分であることを音と音声で知らせます；
- ・ 二重の音信号と音声報が漁期終了の合図となる；
- ・ 三連音信号とボイスアラートがレッグの終了を告げる。

各漁業中断時には、正しくフックされ、ランディングネットに入れられた漁獲物のみが有効とみなされる。リリース作業は、時間を無駄にすることなく、直ちに行わなければならない。

ペグ反転の合図があった時点で、競技者の竿に魚が掛かっていた場合、その魚が釣り上げられるまで、その競技者の釣り動作は終了することができる。その魚は有効とみなされる。魚が水中に戻された後にのみ、ペグ反転を行うことができる。

選手権のさまざまなフェーズの音響号は短く、どのような場合でも号の始まりが考慮される。競技者は、フィッシングピリオドが終了するまでは、自分のリングを離れたり、他の競技者に近づいたりすることはできない。

24-競技中、各スチュワードは、競技会場が分割された特定の位置に割り当てられそこで競技全体にわたって待機する。

個々のスチュワードは、競技者の釣った魚をコントロールすることができ、かつ競技者やその近くにいる釣り人の迷惑にならないような方法で、釣り人の後方、右側または左側に立たなければならない。

主催者が十分な数のスチュワードを用意できない場合、審査委員会は、組織のメンバーではない同伴者に頼ることを決定することができる。

## 陪審員

25-申し立てられた苦情を審査し、規則に従って罰則を適用するために、国際審査委員が任命される。審査員は以下のメンバーで構成される：

F.I.P.S.e.d.の会長、または会長が委任した代理人

F.I.P.S.e.d.事務総長；

現在のF.I.P.S.e.d.実行委員会のメンバー；

ただし、F.I.P.S.e.d.の会長（またはその代理）は職権で審査委員長となる

この人数に達しない場合は、抽選で異なる国から代表者を選出する。これらの代表は、

F.I.P.S.e.d.の代表および主催国と同じ国籍を持つことはできない。

これらの代議員は、チーム登録用紙に登録するものとし、キャプテンを代議員に任命することはできない。

審査委員と同じ国籍を持つ競技者またはチームによる違反があった場合、その審査委員は投票権を持たない（審査委員長である場合を除く）。

審査委員は「審査委員」バッジを着用し、競技会場で苦情を受け付ける。審査委員は携帯電話で連絡を取ることができるため、チームキャプテンには携帯電話番号が通知される。

-26-苦情は、順位に関するものを除き、レグ終了後1時間以内に審査委員会に提出しなければならない。苦情は口頭で申し出るものとするが、直ちに書面で確認するものとする。審査委員会が必要と判断した場合、その場合に限り、苦情を申し立てたチームの代表が提出した写真やビデオを見ることができる。審査委員会に公式に苦情を申し立てられるような、競技者やチームに不利なビデオや写真のみが考慮される。この場合、写真やビデオは証拠として認められず、苦情も認められない。順位に関する苦情は、公式結果発表後30分以内に申し立てるものとする。公式結果発表時刻は、公式結果リストに記録される。

200ユーロの保証金（F.I.P.S.e.d.の事務総長またはその代理人が領収書を発行するものとする）は、審査委員会に提出された書面による苦情を補完するものとする。審査委員会により不服申し立てが正当であると判断されなかった場合、保証金はF.I.P.S.e.d.の銀行口座に振り込まれるものとする。

すべての違反と普告は審査委員会に報告され、審査委員会は釣り人を失格にすることができる唯一の権限を持つ。ペナルティを課された競技者は、直ちにその旨を報告しなければならない。

F.I.P.S.e.d.の実行委員会の全メンバーは、個人バッジを着用しなければならない。当該バッジは、実行委員会の任期（4年間）のみ有効とする。

## 罰則一覧

審査委員およびすべての総合スチュワードは、本ルールが遵守されていることを確認しなければならない。従って、彼らはそのような規則を熟知していなければならない。

-28-罰則は以下の通りとする：

-27-公式2言語で作成された競技規則は、大会主催者が審査員およびチームキャプテンに提供する。

同数の場合は、F.I.P.S.e.d.会長またはその代理人が決定票を持つものとする。

a) 第11条(第23)、第14条、第16条、第19条、第20条の違反に対する告(イエローカードと22。

b) 第17条、第18条、第32条、第35条、第36.2条および第37条の違反に対しては失格(レッドカード)、第11条(第25)、第14条、第16条、第19条、第20条および第22条の違反に対しては2回目の普告の後に失格(レッドカード)。

©) 第5条、第34a条、第34b-1条違反による国家の失格。

d) レッグのいずれかの期間中にアングラが犯した反則により失格となった場合、そのアングラは該当するレッグのセクターランキングにおいて失格となる。

e) この場合、そのアングラには参加チーム数+1のポイントが与えられる

・アングラが失格となった場合、そのアングラ以下のアングラは元の順位を保持する(例: 8位のアングラメが失格となった場合、以下のアングラは順位を保持し、9点、10点...とマークする)。

f) 国に対して与えられた警告は、その国のファイルに記録され、制裁を受けた日から3年間ファイルに残るものとする。同じ選手権の次の3大会において、新たな違反があった場合は「再発」とみなされ、審査委員会はその再発と罰則リストを考慮して決定を下すものとする。

g) 競技者に与えられた普告は、その制裁の日から3年間、競技者のファイルに記録される。その後3回の同選手権において、新たな違反があった場合は「再発」とみなされ、審査委員会はその新たな違反と罰則のリストを考慮して判断を下すものとする。

h) F.I.P.S.e.d.の実行委員会は、公式ルールに規定がない場合であっても、釣り人、船長、リザーブがルールに違反した場合、または不品行な行動をとった場合、大会中および大会後に罰則を科す権利を有する。

-29- F.I.P.S.e.d.実行委員会の委員は、競技会場に立ち入り、規則違反の有無を確認することができる。

ランキング

-30-1-部門別期間別ランキング(直接一致各セクターにおいて、各釣りのセッション(期間)ごとに、以下のランキングを作成しなければならない。

a) 対戦相手より少ないキャッチ数で直接対決に敗れた競技者には、0点が与えられる;

b) 直接対決でノーキャッチ(サケが0匹)で引き分けた選手には、それぞれ1ポイントが与え

られる；

c) ダイレクトマッチで同匹数（1匹以上のサケ科魚類）の選手には、それぞれ2ポイントが与えられる；

d) 接対決の結果、キャッチ数が相手より多かった競技者に3ポイントが与えられる。

リバーリングによる直接対決は、両ポジションの競技者が行ったキャッチの合計で評価される。

#### レグランキング

a) 自セクター内で行われたダイレクトマッチ（ピリオド）ごとに獲得したポイントの合計。最も多くのポイントを獲得したアングラが1位となり、1st。b) ポイントが同点の場合は、ダイレクトマッチ（ピリオド）の勝利数の多い方を順位とする。c) ダイレクトマッチ（ピリオド）の敗が同点の場合は、全ダイレクトマッチでの釣果の多い順に順位をつけ、次に1回のダイレクトマッチでの釣果の多い順に順位をつける。d) 同点の場合、競技者は同順位とし、本来あるべき平均順位に等しい数のペナルティーを得るものとする。

各レグの個人ランキング a) レグの全ダイレクトマッチにおいて、各セクターの競技者が獲得したポイントを加算し、最も多くのポイントを獲得した競技者を1位とし、st

b) ポイントが同点の場合、競技者は、その部門における各競技者の直接試合（ピリオド）の勝利数（すべての直接試合の勝利数の合計）の多い方に基づいて順位付けされるものとする。

c) さらに同点の場合は、そのレグの全ダイレクトマッチ（ピリオド）で釣った魚の数の多い順に順位をつける。

d) 同点が続く場合は、そのレグの1つのアングリリングピリオドで釣った魚の数の多い順に順位をつける。

#### 各レグ4チームのランキング

a) 各チーム4名のアングラが各セクターで獲得したペナルティの合計（セクター別順位）。ペナルティの数が最も少ないチームが1位、以下同様とする。

b) 2チーム以上のアングラがペナルティーで同点となった場合は、同一チームのアングラが獲得したポイントの合計（全ダイレクトマッチのポイントの合計）の多い方を順位とする。

c) 同ポイントの場合は、同一チームのアングラが勝利したダイレクトマッチ（ピリオド）の数（全ダイレクトマッチの勝利数の合計）が多いチームを順位とする。

d) 同点となった場合は、そのレグの全釣行時間において、同一チームのアングラが釣った魚の数の多い順に順位が決定される。

e) 同点が続く場合は、全釣行期間中、チームメンバー1人が釣った魚の数の多い順に順位をつける。

## 5-個人総合ランキング

- a) 2つのレグで行われたすべてのダイレクト・マッチで各競技者が獲得したポイントの合計。最も高いポイントを獲得した競技者が1位となる。
- b) 同ポイントの場合は、2レグで各競技者が獲得したダイレクトマッチ（ピリオド）の勝利数（全ダイレクトマッチの勝利数の合計）の多い方から順位を決定する。
- c) さらに同点の場合は、2レグで釣った魚の数の多い方から順位をつけ、次に2レグのうち1レグで釣った魚の数の多い方から順位をつける。
- d) 1レグにのみ参加した選手は、個人ランキングの最後尾とし、ペナルティー獲得数に基づく順位に従う（最初に両レグに参加した選手、次に1レグにのみ参加した選手）。

## 6チーム総合ランキング

- a) 2レグで各チームが各セクターで獲得したペナルティを合計し、ペナルティの数が最も少ないチームを1位とし、5、以下同様とする。
- b) 2つのレグの8つのセクトにおいて、同一チームのアングラが獲得したペナルティーが同点の場合、当該チームは、2つのレグで行われたすべてのダイレクトマッチにおいて、同一チームのアングラが獲得した合計ポイントの最も高い数に基づいて順位が決定される。
- c) また、同点の場合は、同一チームの競技者が2レグで勝利したダイレクトマッチ（ピリオド）の合計数（全ダイレクトマッチの勝利数の合計）の多い方を順位とする。
- d) 同点が続く場合は、同一チームの釣り人が2レグで釣った魚の数の多い順に順位付けを行い、次に同一チームの釣り人が2レグのうち1レグで釣った魚の数の多い順に順位付けを行う。

## 7-国家ランキング

すべての大会について、過去6年間のベスト5の成績を考慮し、国別の世界ランキングまたはゾーンランキングを作成する。

このランキングに含まれる国のうち、何らかの理由で選手権に参加しなかった国には、その年の参加国数+1に相当する数の罰則が与えられる。

-31-順位は、F.1.P.S.e.d.から委任された者、またはこの者がいない場合は主催者が、F.1.P.S.e.d.の会長またはその代理人の立会いのもと、場合によっては審査員の立会いのもとで決定する。

ロッドの長さ／リール

-32-ロッドの長さは2.75メートル（9フィート）まで。ロッドはモノブロックまたはプラグ式でなければならない。テレスコピック・ロッドの使用は禁止する。

固定スプールリールのみ使用可。スピニングリール（キャストイング）の使用は禁止する。ベイトのこと？

### 「民事賠償責任保険

・主催者は、大会全体（トレーニング開始から最終夕食会終了まで）をカバーする「民事賠償責任」保険に加入しなければならない。大会の2ヶ月前に、大会全体が「民事賠償責任」保険に加入していることを証明する保険会社発行の証明書をF.1.P.S.e.d.会長に提出しなければならない。

### トレーニング

-34-a) 公式トレーニングは、必ず公式会場で行われる。

トレーニングは、すべての競技者に同じ釣り条件を提供するよう組織されなければならない。したがって、主催者は、全員が湖のさまざまな場所でトレーニングできるよう、会場周辺で適切な数のチームローテーションを用意しなければならない。

b) 公式競技会場は以下のように構成される：

1) 大会前日の日曜日の夕方から、参加する公式代表団の全メンバーを締め切る

2) 公式トレーニング1日（第1レグ前夜）。会場の各リングに少なくとも

20匹のサケ科魚類の補充を義務付ける。トレーニングのタイムテーブルと時間は、競技のレグと同じとする。

3) 大会2日間（金曜日と土曜日、または土曜日と日曜日）。補充は、第1レグではトレーニングセッション終了後の午後遅く、第2レグでは第1レグの午後遅くに行う。このような補充は、会場の各リングに少なくとも30匹のサケ科魚類を想定していなければならない。

すべての再標本化は、第17条に記載された魚種のいずれかに属する魚種を用いて行われるものとする。17に記載された魚種を使用し、審査員立会いのもと、全セクターに均等に配分されなければならない。大会プログラムにおいて、主催者は再補充に使用する魚種と平均的な大きさを示さなければならない。サケ科魚類の再接種は、150~400gのサケ科魚類を使用する。

トレーニング当日、主催者は、許可された釣りの時間を示す関連するシグナルを発する。各チームはそのシグナルに従わなければならない。

### 36/43

チームメンバー5名（有効メンバー4名＋リザーブ1名）のみが、練習中に競技会場で釣りをすることができる。

すべての参加国には、技術仕様および会場に関する情報が記載された文書が提供される。

### 送電線および発電所

-35-いかなる電気設備（電線、変圧器、トリスなど）からも、両側で25メートル未満の距離に競技者を置くことは厳禁である。

### 悪天候や水上コンディションの場合のルール

-36-1-悪い状況（洪水、大波など）が発生した場合、準備の前または準備中に中止の

合図は、アングリングベグへの立ち入りの延期または準備段階の終了を示すものとする。天候や水辺の状況、競技日程が許せば、レグを定期的に行うことができる。

天候や水に関する状況が改善されない場合、または競技日程が許さない場合

そのレグは単にキャンセルされるものとする。中止されたレグは、開催されたレグの結果に基づいて設定されるランキングを作成する際には考慮されない。キャンセルされたレグを後日開催することはできない。

## 2- レグ中に悪条件が発生した場合

ロッドは地面に水平に置かれ、すべての競技者とスチュワードはリングの外に避難しなければならない。

天候や水上コンディションが許せば、そのレグは続行され、2ndのシグナルで釣り人は自分のペグに戻ることができる。5分後の3rdのシグナルで、競技者は釣りを再開することができる。

休憩は1レグに2回まで認められ、その時間は1時間を超えてはならない。

休憩時間は、レグの競技時間を計算する際には考慮されない。

審査委員会は、競技日程や天候、水質などの状況により、釣りの終了時刻まで釣りをすることができない場合、レグや釣りの時間を短縮することができる。

天候や水に関するコンディションが競技の正式な実施を許さない場合、審査委員会は1レグの中止を決定することができる。当該レグは延期されず、ランキングは実際に実施されたレグに基づいて作成される。キャンセルされたレグは再び開催されることはない。

## アンチ・ドーピング検査

-37-F.I.P.S.e.d.は、C.I.P.S.が適用する世界アンチ・ドーピング規程を採用する。

大会期間中、アンチ・ドーピング検査を受けるよう選ばれたアングラーは、F.I.P.S.e.d.または審査委員会のガイドラインに従い、指定された時間に必ず指定された場所に行かなければならない。アンチ・ドーピング検査を受けるよう選ばれたアングラーで、検査に出頭しない者は競技失格となり、その者が参加したすべての競技日について、ランキングの最下位+1に相当するペナルティが与えられる。

主催国は、すべてのアンチ・ドーピング管理費用を負担するものとする。各国のNADO（国内アンチ・ドーピング機構）との連絡は、すべて、対象となる選手権大会の主催者が独占的に行うものとする。

主催者は、ドーピング防止検査を受けている間、検査の対象となる釣り人の釣り用具・用具について責任を負うものとする。

C.I.P.S.は、検査機関として、ADAMSシステム上で、ドーピング・コントロール検査に関する指示とともに、関連するミッション・オーダーを発行する。

ドーピング・コントロール・フォーム（DCF）のコピーは、検査を担当した医師の署名入りでC.I.P.S.事務局（Cipssecretariat@cips-fips.com）に送付するか、競技終了後直ちに会場にいるF.I.P.S.e.d.の公式代表者に届けられ、同代表者がC.I.P.S.に転送する。

選手権大会に参加する選手は、登録することにより、すべてのWADAアンチ・ドーピング規則

を暗黙のうちに受諾することになる。

禁止されている物質または方法による治療を必要とする病気または状態の競技者は、以下のよう  
にC.I.P.S.に治療目的使用の免除（TUE）を申請しなければならない。

C.I.P.S.の厳格なTUE申請プロセス。

その際、ITAのウェブサイト([https://ita.sport/uploads/2021/02/ITA\\_TUE\\_Form.pdf](https://ita.sport/uploads/2021/02/ITA_TUE_Form.pdf)) からダウン  
ロードできる

申請書を使用しなければならない。TUE申請書は、以下の住所に送付しなければならない：  
**tue@ita.sporto**

したがって、競技者は禁止物質リスト([https://www.wada-  
ama.org/en/resources/world-anti-doping-code-and-international-  
standards/prohibited-list](https://www.wada-ama.org/en/resources/world-anti-doping-code-and-international-standards/prohibited-list))、および

2024 list monitoring program en final 22 september 2023.pdf ([wada-  
ama.org](https://www.wada-ama.org)) を参照しなければならない。

バックナンバーや腕章への広告掲載

-38-広告は義務ではない。

バックナンバーの広告文字の大きさは、高さ**6cm**を超えてはならない。この形式の広告は、表  
面および裏面の両方において、バックナンバーの下部にのみ許可されるものとする。

腕章の広告文字の大きさは高さ**3cm**を超えてはならず、この形式の広告は腕章の下部にのみ許  
可される。

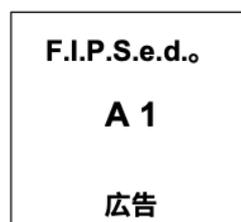
F.I.P.S.e.d.公認オフィシャルルール 「TROUT AREA」-マントヴァ（イタリア）-09-  
10/11/2023

ページ

40/43

バックナンバーまたは腕章サンプル

バックナンバーまたは腕章サンプル



F.L.P.S.e.d.およびC.L.P.S.料金

-39-参加国は150ユーロの参加費を支払うものとし、この参加費はF.I.P.S.e.d.が使用できる。  
500ユーロの手数料は、主催国からC.I.P.S.に支払われる（C.I.P.S.の銀行口座に振り込まれ  
る）。

開会式および賞金授与式

-40-チームの開会式、プレゼンテーションセレモニー、および優勝者の表彰式は、C.I.P.S.公式アンセムで開会しなければならない。

開会式およびチームプレゼンテーションは、第1レグの2日前の午後6時に行われる。

上位3カ国および上位3人の個人競技者には、それぞれ金メダル、銀メダル、銅メダルが正式に授与される。国際基準に従い、賞の授与手続きにおいて、勝者（チームまたは競技者）の国歌が演奏され、上位3人の選手／チームの国旗が掲揚されるものとする。メダルの代金はF.I.P.S.e.d.が負担し、F.I.P.S.e.d.の指定代理人が手渡すものとする。

世界チャンピオンの選手（個人およびチーム）には、その年の世界タイトル保持者であることを示すために、ナショナルチームのユニフォームにつけるワッペンが追加で贈られる

個人表彰式では、4位と5位の選手も表彰台に上がらなければならないが、メダルは授与されない。

成績証明書は、表彰式に出席した第1位のネイションズオフィシャルメンバー3名全員と、第1位の個人アングラー5名に交付される。

その他の報酬は、すべての参加国に平等に与えられるものとする。すべての参加国は、国旗国歌の録音を提供するものとする。

公式結果発表のセレモニーでは、優勝国の国歌が演奏されている間、国を代表する8名までが表彰台に立ち、メダルを手渡すことができる。

#### ルール・バージョン

-41-本規約の解釈に起因または関連する紛争が生じた場合、フランス語版のみが原文および参照文とみなされるものとする。

#### 組織国の義務

-42-世界選手権またはゾーン（ヨーロッパなど）選手権の主催国は、以下のことを行う：

- a) F.I.P.S.e.d.のトロフィーに刻印（プレートまたはロゴ）を入れる；
- b) 公式プログラムおよび選手権に関する情報を2つの公式言語（英語とフランス語）で発言する